

◆スターク
新年準備本舗
東京本郷湯島六丁目
損害日産東京三九四番
天下

遠境に方り、ある處に宿を定めし宿を明瞭せり

地理
 之敵は其
 遠隔地間に於ては商取引に付向へ
 紛争を生じ當業者双方盡同文書の
 要本解決、内地、朝鮮、臺灣、支那、客員會社、僱し一方公會、松
 義通し、統、せる、米増、計、長、三井、管、持、

てなる興業を以て今から基礎を見んとす、だから現代の興業所は各國愛して居ります、私が今回朝鮮に來た石炭の中心地になります、そして

石ます云々
 其れを以て
 現にあらるべきものだと思ひ
 雖は之れに附
 自然に發せらるること
 俟たせらるゝと
 本目十二頁

1

今回平利和と高木靴店
 強大割引仕候間何卒多少に不拘御用命仰付の程偏
 に懇願奉候

割引期間 四月十日ヨリ四月三十日迄

割引品目 靴、トラシク、バスケット、柳行李、毛布
 洋傘其他旅行用其一切

京 城 本 町 一 丁 目

高木靴店

演藝案内

小金井 津洲 講演

大正十一年

津洲兄弟合會

将棋新手法 (四)

物理療法に就て

お困りの方へ答ふ

四月十日

東城明治町 婦人科

中興婦人科

院長 衣笠 芳山

東京歌舞劇協同會

本町 京城劇場

大正十一年

浪花座

中央館

十六圓

考へ物集

旭商會

考へ物集

考へ物集

考へ物集

考へ物集

考へ物集

考へ物集

考へ物集

考へ物集

考へ物集

考へ物集

考へ物集

考へ物集

ルートラサニ

パット目

アケテコ

ソノイ

ソノイ

ソノイ

ソノイ

ソノイ

ソノイ

ソノイ

ソノイ

ソノイ

ソノイ

ソノイ

ソノイ

ソノイ

ソノイ

ソノイ

ソノイ

スダルへ

一キス井ウ

スダルへ

スダルへ

スダルへ

スダルへ

スダルへ

スダルへ

スダルへ

スダルへ

スダルへ

スダルへ

スダルへ

スダルへ

スダルへ

スダルへ

スダルへ

スダルへ

スダルへ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

アドラ

人心の弛緩と不渡手形激増

[illegible]

衆議院議員 山邑太三郎

[illegible]

二千萬圓發

[illegible]

鮮鐵收入增加

近朝鮮に於ける各貨輸入
 夫て好況を呈しつゝあるが
 の輸入は各貨輸入五萬六千
 七圓貨物輸入三萬七千三百
 其の他雜貨七千六百三十圓
 一萬四千五百五十圓を挙げ
 來の最大レコードを示した

殖鐵貨銀値下
 鐵幣造幣鐵貨銀幣に於て
 一月日より鐵貨銀幣を貶
 に至り 咽幣等七割に留

市場改正要望

所の問題ともなりしことは無

各埠正米市販主者も亦其の爲に出
なるが大日本米穀大會に出席し
たに於ては、
改定運進區を起すべきやと
し、
改定運進區を起すべきやと
し、
改定運進區を起すべきやと
し、

長蒲局長視察 松森
め城町の長蒲食糧局長は八
二時京都市恩を視察せり

木曜會例会 柳澤鐵齋

零時半より集合し各信託業務

合、會社相互の親睦を計りつゝ、かゝる六日の例會には親戚に
廣告政策に關し打合決定をす
なるが當分同會幹事は置かれ
低すると

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

「お、あなたはまだ静かに静まつて
お出でありませんか。もつと快
くおなになつてから……」

さう云ひながら、袴脚を去つた。
後には襦袢は脱ぎ、上臑をはきつ
てる。その臌は力無く、空に拂を
見てゐるやうだ。無き夜の聲が
けづれるごとし時雨に、涙の溜池は
らくくと想像されて人々へと流
された。東京の護国館にも泣き
綴けたのだ。誰ぞ人男やつて
來たのか。そして、その悲鳴の
好む女が霞り出し、の女役家非
常。

太郎もつて行はれたのだと誤つ
た。其れによつた。中には、何ら謝つ
たり、或いは史実が鑑識を辱めし
やう報告したのもあった。

都下の新聞は、更に昨、昨の事
を社會界の一番手なものとして長
々と載生した處であつて、當代
と載生したのだ。そして、當代

したのであるが、櫻井・龍崎は「女史」
此の兩者の節制を擧まつて善しきま
れと自慰を企てたのである。其時
勝は、「龍崎女史の節制を自ら稱し
たるに満足せざる傳がある」と云ふ
を發した遊説にもあつて、又「龍崎
女史の保護者であつたケルズ氏の談話と
も」、「株主と女史の談話とも」を載せて
その意味をもつた。

五月號 販賣清水堂
製調

東京府後橋通三電話七五四番

ケルズ氏は胸を痛めてゐたり

實でござへ。昨、私は、何、彼女の位
 聲帯でも後援者も何でもりですん
 ん。これは、彼女が私の忠告を容れ
 ず、また誤解も聞かずに三の男
 性、即ちに交際、結婚するもので
 あります。若し、自分の忠告を容れた
 れば、此家に聞かずににはならない
 とおぼしめたのです。すると交際も既婚で
 家出をしたのです。それで、一晩
 家の出先の路で、それまで彼女と
 親しい関係にある事實を露すため
 にな、直に、彼女を家に呼び、今
 後脱走をかまひけないといふ手紙
 を出したのです。私は斯うにして家事
 を突然に防ぐことがあつたので
 かと、う／＼斯うなことにしたた
 は彼女に於ては、誠に益の事と
 しては、思ひ、私は、何も彼女を
 止めては、何んか誤解はないといふこと
 女方は、昨、聞かずに、三の男、
 彼女を交際を請願した。即事は、式のや
 りであつた。

「道義」さんが生命を別個の無と見做すことは、何より嬉しいことでもあつた。たゞ、人々の陰りに入るのを恐るゝ過ぎましたので、つゝ大膽に穿しつゝ、人の心からうきやうき富貴を奪ふのことも思ひ起つてゐる。出て来ると、概には仇あから騒ぎしてゐるのだから、輝の陰謀も將にたつた。なかつたやうな、卑劣な心算で、あゝいふ陰謀が絶えなれたので、つゝ、輝が「察するに、此は毒」といふ大膽が

秀 進 彦 大田 澤郎 ととき
 守と睦みの夕陽のふりかへる
 京橋 曙月 花魁
 唐

就ひての如くくりし心めて流し給へ
 りと云ふにけり
 河れば淋しき心を雨の音にべ
 たれ風にてけり
 山川 青井 渡路
 京娘 夢路をり千
 なればせんに心をもあはれど人の子
 仁川 久留千代み
 心にもきもの 久留千代み
 ハびも来し我心を
 群山 北川吉次郎
 むなしく放ちし言葉をば春の白鳥とな
 りしをよめしかな

短歌集
 四回（一版）
 撰者 早上位先生
 註者 切金 四月二十日
 意 各別紙附句以内用紙
 票價 別名目録日報社發行

天来抄

足袋 柳 上雲花標坊
 花園町 流馬
 本橋裏さつぱりとたゝと集ま
 龍岩寺 三ツ坊
 女寝を尻にこぞせられ

長崎下知一の女潮見はほき
 唇を噛つて足見をたふさき
 登舟に酔て足見をたふさき
 浪達と足見も押へた数に上
 人門足見の花と刺す輝輝
 赤い髪を散てさつてみれば
 赤い足見を噛へたにけさ
 指り寄れて足見をたふさき
 鈴湯の露に足見をたふさき
 足見を噛へた山に新曲機
 足見を噛へたて成り
 白髪を噛へて船に上る
 紺足見の女房まで持し
 矢々に足見をついて見ゆか

川柳募集

題「春遊」(五言)
非獨花光先生
金天位當
切四月二十日
注意 各町別紙五句以内、用紙
明書、署名、封筒裏に詩文を添付
附名「行」
四「櫻桃」「行」
本誌編輯部
金天位當
切四月二十日
注意 各町別紙五句以内、用紙
明書、署名、封筒裏に詩文を添付
新刊紹介

實生活四月號より一部四十頁發行
東京新聞社出版の『新小説』は、
ムラツキカ其の例と商業大興


[illegible][illegible]

天江平酒造

池田理學博士發明

撰えらばれた

春の一日永い魔かな日の樂
 理せうかと御考へ遊す前に
 今日けふの



味の素の


其印香
 子
 ジルシ
 カ
 ウ
 る
 強壯飲料
 きたうきう
 んれい
 ぞう

美味 滋養

お料理

食膳に何を以て

はなりやせん、
素

唯ただ
一ひと
つ
……

……
上うへ

にして産人の呻吟に應じ
て其の苦痛を減ず
るに努むるを以て
婦科に属す

近藤利兵衛商店

店

1-AP-26



足袋王

つちやたび

つちやたび召せ

此の花見時



大隈商店 大隈一孝 町
本社 久留米市米屋町
東京支店 東京新井町

[illegible]